

Breeze Makers～茨城に新風を～

第一弾 ラクガキバスターズ編

みなさん、こんにちは(^o^)/ 去る2月2日(土)、ついにBMの初事業、『第一弾 ラクガキバスターズ編』が行われました。さざなみ冬号では今回の活動の様子と、12月に行われたスタッフ勉強会、1月に行われた高圧洗浄の様子をご報告します。

12月15日(土) スタッフ勉強会



講師の斉藤さんがお手本を見せてくださいました。

落書き消し活動をしようと思ったものの、何から始めていいか見当もつかなかった私たち。そこで、毎年11月16日(いい色の日)に県内で落書き消し活動を行っている茨城県塗装工業組合青年部の方を講師としてお招きし、青少年会館でスタッフのための勉強会を行いました。

当日は、前半にこれまでの活動内容や落書き消しの方法についてお話していただきました。後半は外に出て、ペニヤ板を使い、塗装の仕方の実技研修を行いました。



BMスタッフも挑戦！ペンキを塗るって楽しい～

1月30日(水) 高圧洗浄



このときの水圧は200～300kgだそうです！

2月2日(土)の落書き消し活動は、「落書きの上から壁と同色の塗料を塗って落書きを見えなくさせる」という方法をとりました。そのためには高圧洗浄が欠かせない作業となりました。高圧洗浄とは、塗装をする前に表面についているゴミやほこりを水圧で洗い流す作業のこと。この作業をすることで、塗料が壁にしみ込み、長持ちさせられるのです。

薬剤を使って落書きを落とすのって、実はかなり大変。それは落書きに使われた塗料が壁や柱に浸透してしまうから。特に、コンクリートに書かれた落書きは、使った塗料がコンクリートの目の奥まで入り込んでしまうため、完全に落とすことができません。また、壁や柱の素材によっては、薬品を使用することでそのものが本来持っている強度を弱めてしまう恐れもあるそうです。なので、落書きの上からペンキで塗りつぶしていきます。



BMスタッフも体験させていただきました。